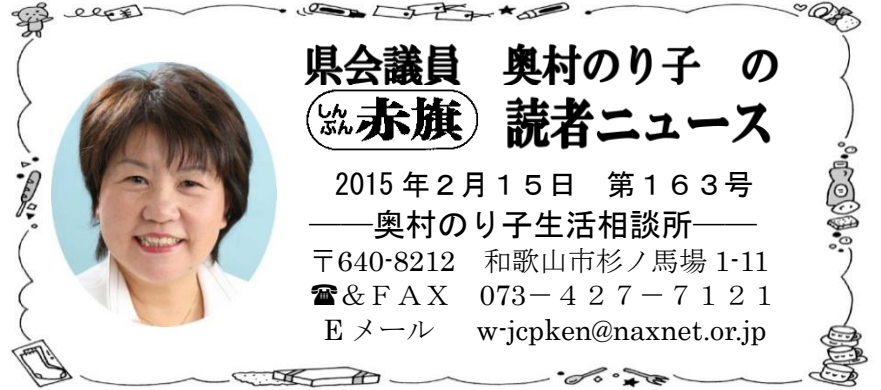


県会議員 奥村のり子 の
読者ニュース

2015年2月15日 第163号
—奥村のり子生活相談所—
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場1-11
☎&FAX 073-427-7121
Eメール wjcpken@naxnet.or.jp



県議選・市議選は大激戦の様相

2月8日、いっせい地方選の勝利めざす「党と後援会の決起集会」が開かれ、お話しする衆院議員は直前に宮本岳志衆院議員に変更になりました。宮本氏は8人から21人に増えた衆院議員団の奮闘を力強く報告され何度も笑い拍手が起きました。また4月の地方選で勝利するならば、参院選、衆院選、地方選とすべての選挙を躍進で一周でき、共産党は次の国政選挙では「850万票、得票率15%」をめざすことを報告。これを新しい政治を築く転機にしようと呼びかけました。

和歌山市2名の県議、6名の市議全員当選はその重要な一步になります。2月5日に開かれた県議選和歌山市区の説明会には定数15に対し18陣営が出席。13人の現職と新人5人で、議席増をめざすのは共産党、自民党、維新の党となり、しのぎを削る闘いです。市議選は定数38に対し50人前後の多数激戦が予想されます。かつてない激戦でまさに一票差で当落を争う展開です。今が頑張り時です。読者の皆さんの大きなご支援を心よりお願い申し上げます。(編集室)

のり子の週刊日誌 (主なもの)

- 2月13日 市駅/吉宗像前宣伝、議会開会 民商班会あいさつ
- 14日 地域訪問、河西パーラムシティ宣伝 退職者のつどい、自宅近所まわり
- 15日 坂口多美子事務所開き、質問準備 河北スーパー前宣伝
- 16日 質問準備、新婦人つどい
- 17日 調査、民商班会あいさつ
- 18日 調査、民商班会あいさつ
- 19日 無料生活相談、民商班会あいさつ (質問原稿)くくり

超満員の「党と後援会の決起集会」。予定候補が力強く決意表明。マイクを持っているのがおくらです。

ホットな声援を胸に

みなさんこんにちは、さかぐち多美子です。いっせい地方選挙が、すぐそこまで近づいてきています。「渡辺忠広市議からバトンを引き継ぎ、市会議員選挙に初挑戦します」と街頭宣伝を強めています。朝宣伝は週3回、河西後援会のみなさんも、のぼりや横断幕を持って、「おはようございませう、いってらっしゃい」と一緒に交差点に立って宣伝してくれています。1月からの行動ですが、車の中から手を振ってくれる方、うなずいて合図してくれる方が少しずつ増えてきました。自転車や歩きの方は「がんばって」「ご苦労さん」と声をかけてくれます。寒い朝ですがホックリ暖かくなります。昼間の街頭

党市医療・福祉
対策部長
さかぐち多美子



高まる期待になんとしても応えたい

宣伝では、散歩で通りかかった方が「共産党がんばってるなあ、今はもう共産党しかない」と声をかけてくれました。信号待ちでは「これ持ってって」と大根を宣伝カーの窓から放り込んでくれました。昨年末の総選挙以来、地域へ出ると、日本共産党への期待が高まっていることを感じます。4月のいっせい地方選挙は、安倍政権の暴走に、地方から審判を下すチャンスです。県議2人、市議6人を必ず実現させて、市民こそ主人公の政治へと変えていけるようみなさんの引き続きご支援をお願い申し上げます。



子どもの医療費無料の拡充を訴えた横断幕を掲げて街頭宣伝です。

今期最後の
県議会開会
悲鳴上がる介護制度
「一緒に考えましょう」

2月13日から3月6日まで定例議会が行われます。今期最後の議会となります。みなさんから託された願い実現のため、しっかりと取り組みで行きたいと思えます。今、各地区でつどいが開かれています。そこでは必ず、介護保険制度の問題で花が咲きます。特に介護保険料の話になると悲鳴が沸き上がっています。現在、和歌山市の基準額月額額は5,813円です。九度山町、紀美野町については3番目に高くなっています。4月からは現在の県平均5501円から、6312円へ、約800円の引き上げとなる見込みです。「社会保障のためといって消費

税の増税をしたのに、これでは詐欺だ」と怒りの声があちこちから聞こえてきます。介護施設を訪問させていた声がいっぱいです。あるデイサービスでは「利用者は年金2万円、3万円の方ばかりでこれ以上とても負担ができない。ここに来れなくなる方も出てくるかもしれない」と辛そうに話してくれました。

「長寿プラン2015年」(仮称)の素案が発表されましたが今議会で、充分検討され、安心して老後が送れるようにみなさんと一緒に考えて行きたいと思います。保険料の引き上げに向けて力を合わせましょう。(おくら)